

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	地域高規格道路 上信自動車道 一般国道145号 吾妻東バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	群馬県
起終点	自：群馬県吾妻郡東吾妻町厚田 至：群馬県吾妻郡東吾妻町植栗			延長	6.4km
事業概要					
<p>上信自動車道は、群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保IC付近から鳥居峠を經由し長野県側の上信越自動車道を結び、吾妻地域及び沼田・渋川地域集積圏と長野県の上田地域集積圏との連携強化を図るとともに、広域交流を促進する延長約80kmの地域高規格道路である。</p> <p>一般国道145号吾妻東BPは、上信自動車道の一部を構成する延長6.4kmの2車線道路である。</p>					
H25年度事業化	H30年度都市計画決定	H30年度用地着手	R1年度工事着手		
全体事業費	約284億円	事業進捗率	約75%	供用済延長	0km
計画交通量	13,400～16,700台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (0.7) (残事業) 3.0 (1.3)	総費用 (残事業)/(事業全体) 618/2,175億円 事業費：512/2,025億円 維持管理費：40/84億円 更新費：66/66億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,879/3,325億円 走行時間短縮便益：1,450/2,724億円 走行経費減少便益：320/472億円 交通事故減少便益：109/129億円	基準年 令和5年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.4～1.7 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.7～3.3 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.4～1.7 (事業費±10%) 事業費：B/C=2.8～3.4 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.4～1.6 (事業期間±10%) 事業期間：B/C=3.0～3.1 (事業期間±10%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における救命救急・経済活動の継続性を確保 危険箇所の回避および道路網の代替性・多重性の確保 ・県央地域の総合周産期母子医療センターへの搬送時間の短縮 吾妻地域から総合周産期母子医療センターへの1時間圏域人口が約9千人増加〔約24千人⇒約33千人〕 ・関越自動車道へのアクセス向上 関越自動車道 渋川伊香保ICから草津温泉へのアクセス時間が約30分短縮〔約90分⇒約60分〕 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・渋川市をはじめとする3市4町2村の首長や議会議長等で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、当該路線の整備促進の要望を受けている。 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度に上信自動車道の一部区間である長野原嬭恋バイパス(L=8.5km)が新規事業化した。 ・令和2年6月7日に上信自動車道の一部区間である金井バイパス(L=1.0km)、川島バイパス(L=2.2km)、祖母島～箱島バイパス(L=4.0km)が全線供用した。周辺環境等に特に変化はない。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約93%、事業進捗率約75%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
埋蔵文化財調査の追加や用地買収に期間を要しているが、川戸・原町IC～厚田IC間の部分供用を行うなど、早期の事業効果発現も考慮しながら事業を進捗させる。					
施設の構造や工法の変更等					
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

